

ご自由にお持ち帰り
ください

WINTER
No.8

愛 日

D A N

2025

2025年2月
新病院 開院

Contents

P1~P2 ごあいさつ

P3~P4 外来フロアマップ

採血の受付が変わります

P5 入院の手続きが変わります



中核医療センター・地域医療支援病院

霧島市立医師会医療センター

新年のごあいさつ

病院長 河野嘉文

新年明けましておめでとうございます。皆様それぞれが新しい年に希望を抱きながら二〇二五年を迎えられたこととお慶び申し上げます。霧島医療センターは新病院建設第一期工事が完成し、本年二月一日に新病院オープンを迎える予定です。これまで当院の発展に貢献してこられた霧島市関係者、霧島市民の皆様、当院開設以来ご尽力いただきました始良地区医師会、そして病院を支え続けた職員各位に敬意を表すとともに、厚く御礼申し上げます。与えられた新病院施設で最先端医療を提供しつつ、地域になくはない病院として活動を続けたいと思います。

明るい希望ばかりであればいいのですが、現実には厳しい事態が待ち受けていることも事実です。その最大の原因は、最近の医療事情による病院収益構造の変化です。ご承知のように国民皆保険制度のもとで国が定める料金で診療を行うため、それぞれの病院の事情に応じた値段設定はできません。国は暴騰する医療費を削減するために数々の方針を出しておりますが、基本的には患者負担を最小限にするために病院の収益減で対応することになります。日常診療に使用する機器や物品のすべてが高騰し、国策による人件費増も規定されており、一方で、働き方改革による労働時間制限によってとりわけ休日夜間の労働力の確保は困難を極めています。

財政面では二〇二〇年からのコロナ禍では、国が緊急対応として給付金を出して医療機関のコロナ診療を促進しました。しかし、この給付金はコロナの患者さんを受け入れた病院には少なく、病床準備をして受け入れなかった病院に手厚くなる「空床補償金」という形式でした。そのため、県内の第一号患者さんから始まり、数多くのコロナ患者に

対応した当院は、県内でも有数の補償額の少ない病院となつてしまい、多額の補償金でコロナ禍の経営を乗り切れた他の公立・私立の病院のようにはなりません。そのような環境であっても、当院は県央随一の救急体制を有する基幹病院として整備を続けなければならない使命を担っていると考えております。消化器外科、整形外科、呼吸器外科、泌尿器科、脳外科、血管外科、耳鼻科など、広範囲の外科系手術対応が可能な病院も当地区では他にありませんし、二十四時間対応の小児診療も当院だけです。病院経営という観点から縮小の方針をとれば、新病院の機能が十分に発揮できず、右記の診療内容も縮小せざるを得ないと思います。そのため、職員一同経費削減に邁進し、適切な医療の提供を継続できるように努力したいと存じます。市民の皆様にもこのような事情をご理解いただき、霧島医療センターはどうあるべきか、一緒に考えて頂けたら幸いです。

昨年は日本の政治だけでなく各国の政治が不安定化し、ウクライナやガザ地区の紛争解決は遠のき、今年は政治的にも経済的にもますます混乱が進んでもおかしくない状況です。どんな状況下にあっても、私たちに健康で安全な生活を営む権利があり、日常生活を守らなければなりません。鹿児島県の空の玄関口である霧島市にある霧島医療センターが、始良地区や離島からの県内患者だけでなく、全国からあるいは世界から観光等で来県される方々への医療サポートの基幹施設として機能することを目指しております。霧島市ひいては鹿児島県の資産として当センターが機能できるように、「ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

皆様にとってすばらしい二〇二五年になりますように祈念いたします。

新年に向けて

始良地区医師会会長 佐藤昭人

あけましておめでとうございます。年々、一年が短く感じられ、年賀状の数もSNSの普及や高齢化などで少なくなり一抹の寂しさを感じながら迎えた正月でしたが、皆様はどのような気持ちで新年を迎えられたでしょうか？

世界中、各方面でAI機能が多用されていますが医療界でもAIによる診断などが取り入れられ診療の補助となっており今後、さらに活用が広がっていくものと思われれます。我々、医療スタッフや患者さんにとっても非常に心強い味方となります。ただ医療の本質はAIには出来ない我々と患者さんとのこころのつながりだと思えます。AIに支配されることなくAIを上手に利用し、本質を見失わない医療を目指して行きたいと思えます。

さて、多くの方々のご支援、とりわけ住民の皆様のおかげで新病院が完成し、二月よりいよいよ診療が開始となります。診療科も増設され、救命救急センターの開設も計画しており、今後は当地域の中核病院、そして伊佐や大隅、離島などの不足する医療を補完する病院を目指してまいります。また近隣の病院やかかりつけ医との連携による「地域二人主治医制」を構築し、それぞれが自分の役割をしっかりと果たし、一人ひとりの患者さんに最良の医療を提供できるよう日々、努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。



年頭にあたって

看護部長 増田いづみ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。地域の皆様、医療機関の皆様におかれましては、霧島医療センターへのご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、今年の干支は乙巳（きのと・み）です。「巳」はへびのイメージから「再生と変化」を意味するそうです。脱皮し強く成長するへびは、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、神の使いとして信仰されています。「乙」は、困難があっても紆余曲折しながら進むことやしなやかに伸びる草木も表しているそうです。「巳」と「巳」の二つの組み合わせである「乙巳」は、努力を重ね、物事を安定させていくといった意味があるようです。

いよいよ、二月に新病院が開院します。「巳（み）のりある一年」になるように看護職員一同尽力いたします。看護職は医療と生活の両方の視点を持つ専門職として、地域で暮らすあらゆる世代の人々の健康を支えていくことを求められています。地域の皆様の医療ニーズに応え、命、暮らし、尊厳を守り支える看護を提供できるようにしてまいります。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

この新しい年が皆様にとりまして幸多き一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。



変革

事務部長 中馬吉和

明けましておめでとうございます。昨年の能登半島地震からちょうど一年。震災後の復興が遅々として進んでいない中、九月には豪雨災害も発生するなど、被災地は惨憺たる状況となっております。一日も早い復興を切に願います。

さて、現病院の老朽化や狭小化等への対策として、皆様方のご理解のもと始まった新病院建設ですが、昨年の一〇月末に六階建ての白い瀟洒な建物が完成し、いよいよ開院することとなりました。

新病院は、診療科の増設や先端機器類の導入等により医療体制も充実することから、地域に根ざす公的医療機関として、その役割や責務がさらに増すこととなりますが、それらに添えていくためには、病院が経営的にも安定し続けていかなければなりません。そのため、事務部としては、課題の多い医療環境等へ対応していきけるような組織力の向上等に取り組んでまいります。さらに、病院への信頼を揺るぎないものとするための職員の意識改革や接遇力の向上にも注力してまいります。呼称も「霧島医療センター」へと変わる今回の開院が、職員一人ひとりの視座を高めるその契機になればと考えています。人手不足等に直面しながらの医療体制の確保や近年の物価高騰などによる病院の運営上の課題が山積していますが、良質な医療を提供し社会に貢献できるような病院であり続けられるよう、職員一丸となって邁進してまいりますので、どうか皆様方のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

二〇二五年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念いたします。



採血の受付が変わります

来院時間の適正化に関するお願い

令和7年2月5日より、新病院開院に伴い予約時間に合わせて、採血室へ案内となります。

採血室での待ち時間解消、混雑緩和のため診察前に採血検査のある患者さんは、**予約票に記載された時間に来院をお願いします。**

診察予約時間90分以上前の採血受付は出来ません。

(例) 10:30診察予定の場合→9:00以降の来院採血結果が出るまでには、30~80分程度要します。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

霧島市立医師会医療センター 病院長

採血室の流れ

- 1 受付票を持って採血室窓口に行く。
- 2 採血室受付をする。(診療予約時間90分前から可能)
 - ・院内スタッフに受付票を渡す。(スタッフが受付を行う)
 - ・採血受付番号を受け取る。
 - ・検尿のみの患者は、検尿コップをもらい採尿室へ行く。(採血受付番号は発生しない)
- 3 外待ち合いで待つ。
- 4 採血受付番号と採血台を、液晶画面と音声で案内される。
- 5 呼ばれた番号の採血台に座る。(採血受付番号を看護師へ渡す)
- 6 患者確認して、採血を受ける。

123番の方
5番採血台へ
お越しください。

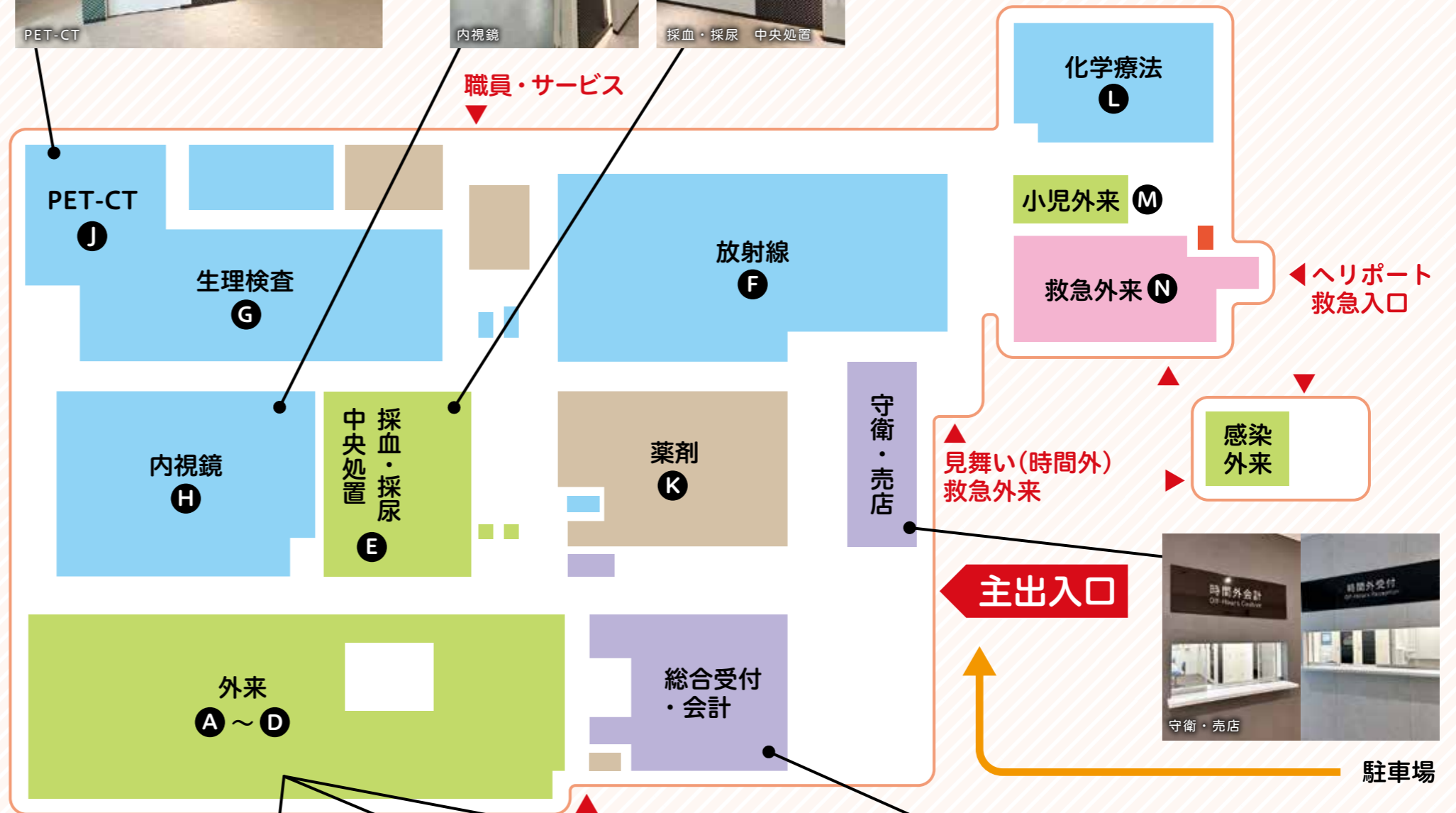


不明な点は採血室師長へお尋ねください。

新病院 外来フロアマップ



「主出入口」から入り、左前方に総合受付・会計があります。その奥が外来診察室です。外来診察室と検査関係の窓口が行き来しやすいように配置されています。
※時間外・土日祝は、救急外来横の「見舞い(時間外)」からの出入りをお願いします。



／ 新病院開院後のお知らせ ／

入院のココが変わります！

●食事について

衛生面や安全面を考慮し、お箸、スプーン、配茶サービスの提供を終了します。個人にて準備をお願いします。お飲み物については、各病棟の給茶機や自動販売機をご利用下さい。

●オムツ（成人）について

オムツを利用される方(成人)については、排泄ケアの質向上のため、すべて委託会社との契約になります。院外からのオムツの持ち込みは必要ありません。

●床頭台について

床頭台のテレビ・冷蔵庫機能を利用される方は、委託業者との契約となります。テレビカードの購入は必要ありません。

入院時に契約書を記入し、利用カードを受け取ってください。料金は日額制となります。

★利用カードプラン

プラン① テレビ+冷蔵庫

プラン② テレビ+冷蔵庫+ランドリー

テレビ

カード
差込口

冷蔵庫



↓職員募集中↓

Instagram



@KIRISHIMA_MEDICAL_CENTER

看護部Instagram



@KIRISHIMAMC_JOBOFFER

ホームページ



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

いよいよ新病院が開院します。

季刊誌「暖」8号は、新病院開院後に当院をご利用いただくときの参考になればという思いの構成となりました。ぜひお持ち帰りください。



〒899-5112 鹿児島県霧島市隼人町松永3320番地

霧島市立医師会医療センター

TEL 0995-42-1171 (代表) FAX 0995-42-2158

受付時間 8:30～11:00

診療時間 8:30～17:30

休診日 土・日・祝・年末年始